

My life in Kuji



トーマス・マックスウェル さん
インディアナ州・23歳 / 久慈湊小、小久慈小、大川目小、久慈中、長内中、夏井中を担当

Merry Christmas & Happy New Year

クリスマスや新年の準備を始める12月1日は、多くのアメリカ人にとって「ホリデーシーズン」の始まりです。この季節は、アメリカ人にとって色々な意味を持つ季節です。クリスマスにプレゼントを渡すことが大きな目玉となっていますが、1年を振り返り、友人や家族などと時間を過ごす時期でもあります。家にクリスマスツリーを飾ったり、庭に電飾や飾りつけをしたりします。そして、クリスマス当日の朝には、プレゼントを交換し、家族みんなで手作りの料理を食べてお祝いします。日本でも、このアメリカの文化を取り入れて恋人同士や家族でお祝いをしていると聞いてうれしくなりました。大晦日も友人や家族とともに、1年の終わりと新年を祝って乾杯をし、盛大にお祝いします。真夜中まで寝ずに待ち、午前0時になった瞬間に恋人たちはキスをします。また、カウントダウンに合わせてあがる花火を見てお祝いをする街もあります。それでは最後に、私たちALTからみなさんへ、メリークリスマス！そして、ハッピーニューイヤー！

市民

センターだより

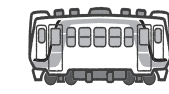
長内市民センター
☎ 52-7400



市民センターの紹介

「人が集う」ということ

長内市民センターでは、生涯学習の場としてさまざまな事業を開催しています。今はインターネットなどで、なんでも簡単に調べることができ、講座に参加しなくても学習できる時代です。けれども、人が集まると自然と会話が弾んだり、エネルギーをいただいて一緒に頑張れることもあります。参加者の中には仕事をしていて、地域のことはよくわからない、地域の事業に初めて参加したという人もいますが、自然と参加者間で会話が生まれます。人が集う場所として、ひとりでも、初めての人でも参加しやすい場になるように努めていきますので、気軽に市民センターに立ち寄ってくださいね。12月15日に行われたそば打ち教室では、山形地区の成谷自然食の会の人たちを講師に、男女14人がそば打ちを体験しました。会話も弾み、とても楽しかったと大好評。1月には、ふれあいユニカール大会や小正月行事、包丁とき教室も開催される予定です。皆さんぜひご参加ください！



みんなの広場

三崎中から八戸学院光星高校、明治大学へ大学3大駅伝出場を目指す長距離ランナー

きらり人輝く

夢の箱根路へ

久慈出身で明治大学体育会競走部に所属する小袖英人さん。全日本大学駅伝対校選手権大会や箱根駅伝予選会に出場し好成績を残しました。陸上を始めるきっかけや駅伝への思いを聞きました。



写真提供：明大スポーツ

Name

小袖 英人 さん
こそで・ひでと（宇部町・20歳）

Profile

久慈市立三崎中学校 卒業
八戸学院光星高等学校 卒業
明治大学 体育会競走部 所属

第50回全日本大学駅伝対校選手権大会4区 9位
第95回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 46位

■陸上を始めるきっかけ

中学のときは、野球部に所属していて高校でも野球を続けようと思っていました。しかし、掛け持ちでやっていた駅伝で結果が出始め、高校でも続けたら全国に通用するのではないかと思い、本格的に陸上を始めました。

■高校での陸上の思い出

中学校の先輩の中村拳梧さんに憧れて、その背中を追って八戸学院光星高等学校に入学しました。5000m走ではインターハイや国体に出場。駅伝では都道府県対抗駅伝競走大会に出場しました。

■明治大学に進学した理由

さまざまな大学から声をかけていただいたのですが、明治大学は、自分で練習を決めることができ自由度が高いことが特徴。縛られ

て陸上競技をするのは嫌でしたし、目標とする選手もいたので、明治大学への進学を決めました。

■箱根駅伝への思い

去年は箱根駅伝予選会を突破できず、すごく悔しかった。今年の予選会ではチーム内で2位の記録。予選突破に貢献し、去年の悔しさを晴らすことができました。箱根駅伝は大学で陸上を続けるなら絶対に出場したかった夢の大会。自分が出場できるかは決まっていますが、チームの目標であるシード権獲得、自分の目標である区間8位以内を目指して頑張りたいです。

■久慈の皆さんへ

レースのきついときに、地元からの応援を思い出します。走り地元で恩返しができると思います。応援よろしくをお願いします。

協力隊 とうしん

渡邊 晋也

さん (わたなべ しんや・25歳)

2017年着任。東京都江東区出身。夏井市民センターに所属し、農事文化の保存・普及に取り組む。



久慈地方産業まつりで手作り野菜を販売

伝統を若い世代に伝えるために

早いもので、久慈に移住をして1年が経ちました。当初わからなかった方言も少しはわかるようになりました。今年、初体験の農業、鍬や管理機の使い方から先輩たちに教えてもらい、野菜作りをしました。できた野菜を食べた人から「おいしかったよ!」の声をいただき、とてもうれしい気持ちになりました。夏の暑い日、汗をかきながらやった種まきや草取りが大変だったけれど、野菜を作った良かったです。農業の楽しさが改めてわかった気がします。また、夏井大梵天神楽や大芦しゃくし舞といった郷土芸能の体験教室にも携わりました。自分が住んでいた町にも伝統文化がありましたが、舞いなどは見たことがなかったので、初めて見たときは、ビックリしました。しかしながら、活動の中で農業・郷土芸能ともに、高齢化や後継者不足の課題が改めて見えてきました。この課題を解決していくために、伝統を若い世代に伝えながら試行錯誤したいです。

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援（地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など）や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

集まれ！ 元気の輪

日本空手協会大野久慈北支部

代表：三上 貴敬さん ☎ 52-1893

活動日：毎週火・水曜日：18時～、土曜日：9時30分～

活動場所：道場（十八日町）、夏井市民センター



型の稽古に力が入ります



練習に参加したメンバーで記念撮影

空手の流派のひとつ松濤館流を学ぶことができる道場です。久慈市や洋野町大野の6歳～中学生までの32人が参加しています。平成19年から活動を開始し、日本空手協会の大会では、団体で全国ベスト4、個人でもベスト8。各流派が参加する空手道連盟の大会では、個人で全国大会に出場したこともあります。

空手の魅力は真剣勝負。そこからさまざまなことを学ぶことができます。家族のみなさんにも各種サポートをしていただきとても感謝しています。メンバーは常に募集中。みなさんも空手を始めてみませんか？